

## 情 報 公 開 文 書

研究の名称	富山市保育所におけるアレルギー疾患生活管理指導表を用いた乳幼児食物アレルギーに関する調査
整理番号	臨29-160
研究機関の名称	国立大学法人 富山大学
研究責任者	富山大学 大学院医学薬学研究部・小児科学講座・教授 足立 雄一
研究の概要	<p><b>【研究対象者】</b> 食物アレルギーのため保育所の生活において配慮が必要となり、アレルギー疾患生活管理指導表を提出した方の中で、記載された内容を職員全員及び連携機関で共有することに同意された方。</p> <p><b>【研究の目的・意義】</b> 食物アレルギーに対する栄養食事指導として、正しい診断に基づく必要最小限の原因食物の除去が提唱されています。必要最小限の除去を行うために、詳細な問診および食物経口負荷試験結果に基づく食事指導が必要です。 保育所の生活において除去対応が必要な場合、生活管理指導表の提出が必須とされており、本研究ではその提出内容を調査することで適切な食事指導が行われているか明らかにすることを目的としています。 そして、食物アレルギー、アナフィラキシーの頻度や除去食物とその根拠等の実態を把握し、食物アレルギー診療ガイドライン普及に伴う記載内容の変化を確認することでガイドラインの普及状況を確認することができます。</p> <p><b>【研究の方法】</b> 2012年度、2017年度に提出され、富山市役所に保管されているアレルギー疾患生活管理指導表を、公文書公開請求制度を利用し個人情報を除く項目の提供を受け、過去2年間の記載内容を解析します。</p> <p><b>【研究期間】</b> 2018年3月16日から2023年3月31日</p> <p><b>【研究結果の公表の方法】</b> 学会、学会誌等への発表を行いますが、その際も研究対象者を特定できる個人情報を利用することはありません。</p>
研究に用いる試料・情報の項目と利用方法（他機関への提供の有無）	年齢、性別、食物アレルギー病型、アナフィラキシー病型、原因食物、除去根拠、緊急時に備えた処方薬、除去食品で摂取不可能なもの、記載医療機関・医師名（アレルギー専門医か否か）などを本学で解析します。
研究に用いる試料・情報を利用する機関及び施設責任者氏名	研究責任者 富山大学 大学院医学薬学研究部・小児科学講座・教授 足立 雄一
研究資料の開示	研究対象者、親族等関係者のご希望により、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書等の研究に関する資料を開示いたします。
試料・情報の管理責任者（研究主機関における研究責任者氏名）	研究責任者 富山大学 大学院医学薬学研究部・小児科学講座・教授 足立 雄一
研究対象者、親族等関係者からの相談等への	研究対象者からの除外（試料・情報の利用または他機関への提供の停止を含む）を希望する場合の申し出、研究資料の開示希望及び個人情報の取り扱いに関する相談等について下記の窓口で対応いたします。

対応窓口

富山大学附属病院小児科・助教 伊藤靖典  
富山大学 大学院医学薬学研究部・小児科学講座  
電話 076-434-7313  
FAX 076-434-5029  
Mai: yaitto-tym@umin.net